



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月31日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)廣瀬俊二 TEL (0774) 44-4923  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,944	△0.2	1,064	8.8	1,084	11.5	765	16.6
28年3月期第3四半期	4,955	7.2	978	22.1	972	24.5	656	29.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	53.10	—
28年3月期第3四半期	45.51	—

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,799	6,947	79.0
28年3月期	8,338	6,421	77.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,947百万円 28年3月期 6,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,620	1.4	1,212	7.3	1,229	8.7	839	9.5	58.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	15,364,265株	28年3月期	15,364,265株
29年3月期3Q	942,403株	28年3月期	938,729株
29年3月期3Q	14,422,574株	28年3月期3Q	14,426,482株

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

なお、添付資料P. 7「3. 四半期財務諸表（3）四半期財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおり、当社は平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しておりますが、「3. 平成29年3月期の業績予想」に記載している1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮していません。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり当期純利益は、52円87銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種政策等を背景とした企業収益や雇用環境の改善に伴い、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、平成28年11月と12月に当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催したことから、トイレタリーの販売は好調でしたが、その一方で、カラー剤において新製品と旧製品の入れ替えを進めていることから、前年同四半期を下回りました。

また、売上原価につきましては、原価管理の見直し等を行っていることから、原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、前期に発売した新製品に伴う費用等の反動により、全体といたしましては、前年同四半期を下回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,944百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は1,064百万円（前年同四半期比8.8%増）、経常利益は1,084百万円（前年同四半期比11.5%増）、四半期純利益は765百万円（前年同四半期比16.6%増）となりました。

なお、当社は美容室向け頭髮用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	3,347	67.5	3,511	71.0	164	4.9
整髪料	850	17.2	813	16.5	△37	△4.4
カラー剤	390	7.9	247	5.0	△142	△36.5
育毛剤	190	3.8	206	4.2	16	8.5
パーマ剤	97	2.0	87	1.7	△10	△10.6
その他	78	1.6	77	1.6	△1	△1.5
合計	4,955	100.0	4,944	100.0	△10	△0.2

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度から461百万円増加し、8,799百万円となりました。

主な要因としては、受取手形及び売掛金が105百万円、無形固定資産が150百万円、投資その他の資産が117百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間の負債は、前事業年度から64百万円減少し、1,852百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が231百万円増加し、未払金が396百万円、賞与引当金が106百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間の純資産は、前事業年度から525百万円増加し、6,947百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が529百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、79.0% (前事業年度77.0%) となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、個人消費の回復が依然として遅れているなど、不透明な要素が多く、美容室の経営に直接影響する事態も想定されることから、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

しかしながら、当社では創業精神である「美容業界の近代化」を基本とし、事業活動を行うことには何ら変わりなく、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」に引き続き注力する考えであります。

業績予想につきましては、平成28年11月から12月にかけて開催いたしました当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」の実績は堅調に推移したものの、カラー剤において新製品と旧製品の入れ替えを進めていることから、平成28年5月6日に公表いたしました当事業年度の通期の業績予想を以下の通り修正いたします。

なお、原価管理の見直し等を行っていることから、増収増益となる見込には変わりありません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	6,850	1,212	1,229	839	58.16
今回修正予想 (B)	6,620	1,212	1,229	839	58.16
増減額 (B-A)	△230	0	0	0	—
増減率 (%)	△3.4	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	6,528	1,129	1,130	766	53.13

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しております。今回修正予想の1株当たり当期純利益は、株式分割を考慮しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,138,607	3,125,218
受取手形及び売掛金	1,339,792	1,445,238
商品及び製品	407,895	466,445
仕掛品	6,756	11,243
原材料及び貯蔵品	144,884	182,054
その他	128,879	191,572
流動資産合計	5,166,816	5,421,772
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,194,872	1,134,804
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	237,035	236,082
有形固定資産合計	2,590,814	2,529,793
無形固定資産	110,538	260,651
投資その他の資産	469,918	587,065
固定資産合計	3,171,271	3,377,510
資産合計	8,338,088	8,799,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	81,575	121,141
未払金	512,162	115,980
未払法人税等	294,400	303,300
賞与引当金	183,206	76,488
役員賞与引当金	—	21,264
販売奨励引当金	45,334	276,914
その他	203,453	289,730
流動負債合計	1,320,132	1,204,819
固定負債		
退職給付引当金	—	2,040
役員退職慰労引当金	476,040	518,203
長期預り保証金	120,028	127,028
固定負債合計	596,068	647,271
負債合計	1,916,200	1,852,091
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,801	330,825
利益剰余金	6,523,645	7,053,393
自己株式	△820,929	△825,179
株主資本合計	6,421,317	6,946,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	569	351
評価・換算差額等合計	569	351
純資産合計	6,421,887	6,947,191
負債純資産合計	8,338,088	8,799,282

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,955,001	4,944,867
売上原価	1,369,638	1,290,659
売上総利益	3,585,362	3,654,207
販売費及び一般管理費	2,607,239	2,589,539
営業利益	978,122	1,064,668
営業外収益		
受取利息	1,191	3,537
受取配当金	1,917	1,707
受取賃貸料	4,635	4,622
業務受託料	4,000	7,200
その他	2,645	4,100
営業外収益合計	14,390	21,167
営業外費用		
たな卸資産廃棄損	17,240	—
賃貸費用	1,178	1,121
その他	1,961	551
営業外費用合計	20,379	1,672
経常利益	972,132	1,084,163
税引前四半期純利益	972,132	1,084,163
法人税、住民税及び事業税	388,226	385,345
法人税等調整額	△72,713	△66,984
法人税等合計	315,513	318,361
四半期純利益	656,619	765,802



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は美容室向け頭髮用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、平成29年1月31日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の割合及び時期

平成29年4月1日付をもって平成29年3月31日(金曜日)最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却又は買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

平成29年3月31日(金曜日)最終の発行済株式総数に0.1を乗じた株式数といたします。ただし、計算の結果1株未満の端数株式が生じた場合は、これを切捨てることといたします。

株式分割前の当社発行済株式総数	15,364,265株
今回の分割により増加する株式数	1,536,426株
株式分割後の当社発行済株式総数	16,900,691株
株式分割後の発行可能株式総数	51,020,956株

3. 日程

基準日公告日	平成29年3月15日(水曜日)
基準日	平成29年3月31日(金曜日)
効力発生日	平成29年4月1日(土曜日)

4. 当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	41.37円	48.27円

- (注) 1 前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益金額は、平成28年4月1日付の株式分割(1:1.1)及び平成29年4月1日付予定の株式分割(1:1.1)が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。